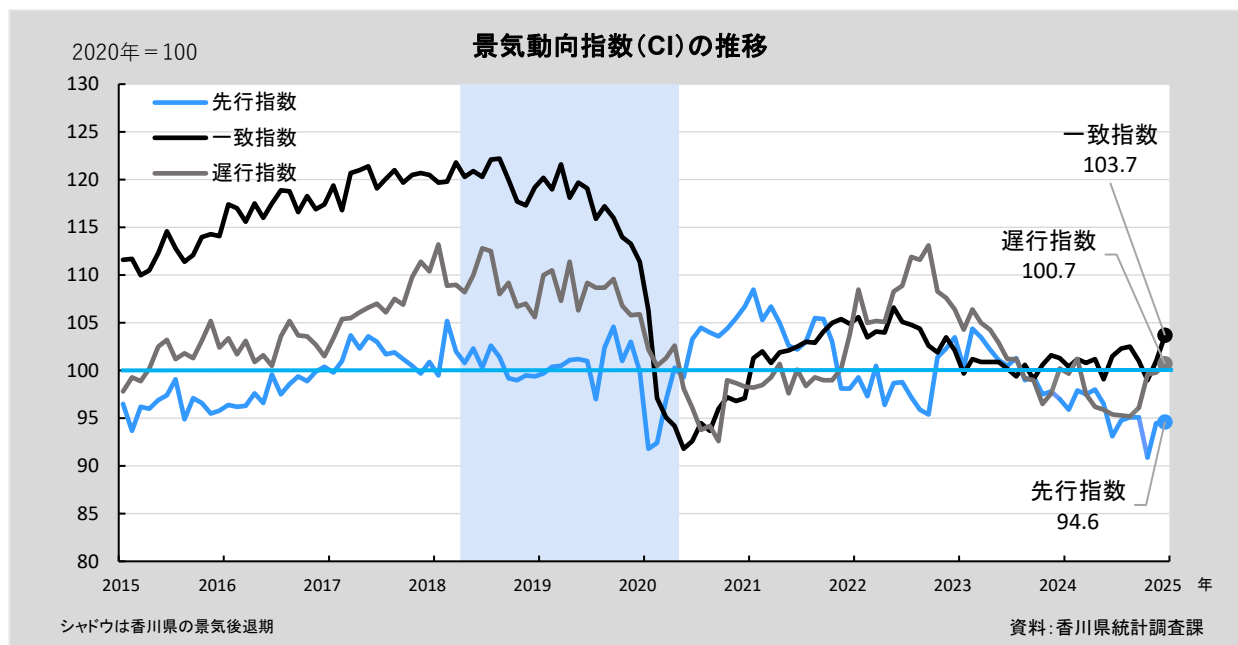


概況	持ち直している。
個人消費	緩やかな増加基調にある。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直している。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	緩やかに持ち直している。
貿易	輸出、輸入ともに減少している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわ CI)

一致指数 2カ月連続上昇



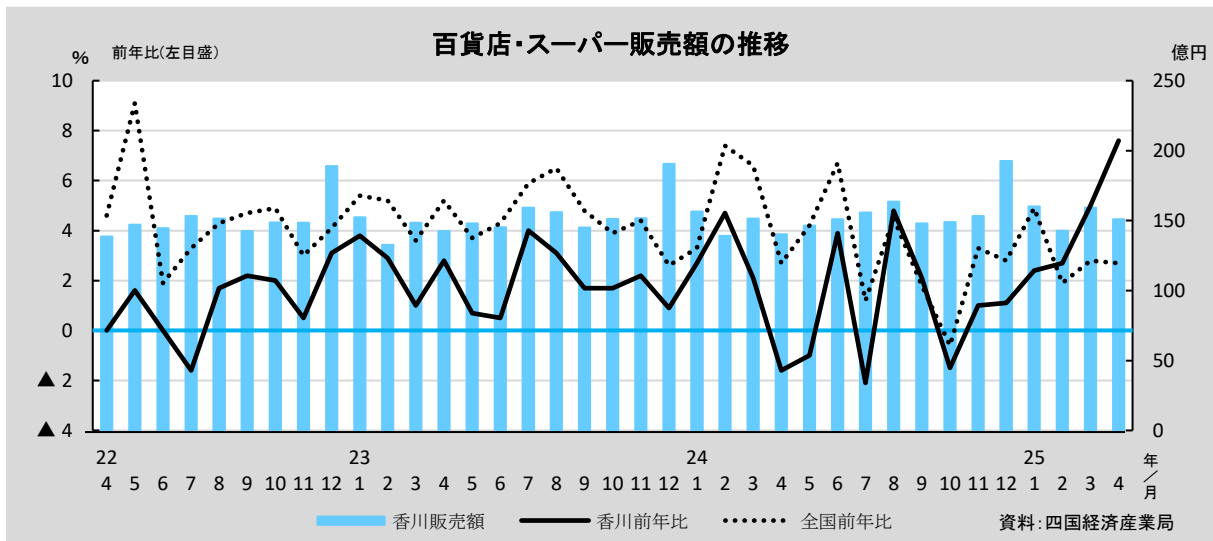
景気の現状をみると、3月のCI一致指数は103.7（前月比+2.7ポイント）と2カ月連続で上昇。CI先行指数は94.6（同+0.1ポイント）と2カ月連続で上昇。CI遅行指数は100.7（同+0.9ポイント）と4カ月連続上昇。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、建築着工床面積、雇用保険受給者実人員等が上昇に寄与し、前月から2.7ポイント上昇となった。

先行系列			一致系列			遅行系列		
寄与度			寄与度			寄与度		
採用 景気 指標	1 新規求人数	▲ 0.56	1 雇用保険受給者実人員	0.98	1 常用雇用指数	0.10		
	2 乗用車新車登録台数		2 有効求人倍率	0.00	2 有効求職者数	0.59		
	3 鉱工業在庫率指数	▲ 0.31	3 所定外労働時間指数	0.05	3 消費者物価指数	▲ 0.47		
	4 新設住宅着工戸数	1.86	4 鉱工業生産指数	0.26	4 家計消費支出	1.35		
	5 金融機関貸出残高	▲ 0.38	5 鉱工業出荷指数	0.05	5 鉱工業在庫指数	0.82		
	6 消費者態度指数	▲ 0.36	6 建築着工床面積	1.16	6 法人事業税調定額	▲ 1.00		
			7 百貨店・スーパー既存店販売額	0.24	7 第3次産業活動指数	▲ 0.38		

●百貨店・スーパー販売額

6 カ月連続増加

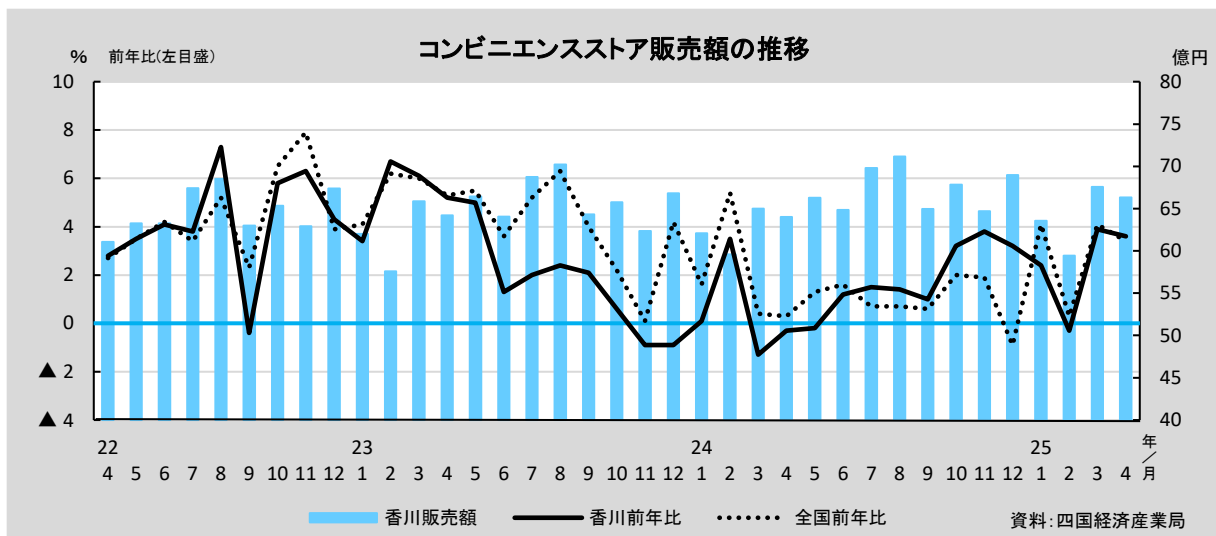


2025/4月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	96,578	58,214	1,130,252	1,614	3,704	71,203	146,923	440	1,508,928
前年同月比(%)	▲ 3.7	▲ 2.4	10.4	15.7	3.4	9.0	▲ 0.8	▲ 3.9	7.6

4月の百貨店・スーパー全店(89店)の販売額は150.9億円で、前年同月比+7.6%と6カ月連続で増加した。「飲食料品」は引き続き生鮮野菜相場高や米の価格上昇が売上を押し上げる傾向がみられ、同+10.4%と大幅に前年を上回った。一方、「衣料品」は気温の影響などにより春夏物の動きが鈍く同▲3.7%と減少した。

●コンビニエンスストア販売額

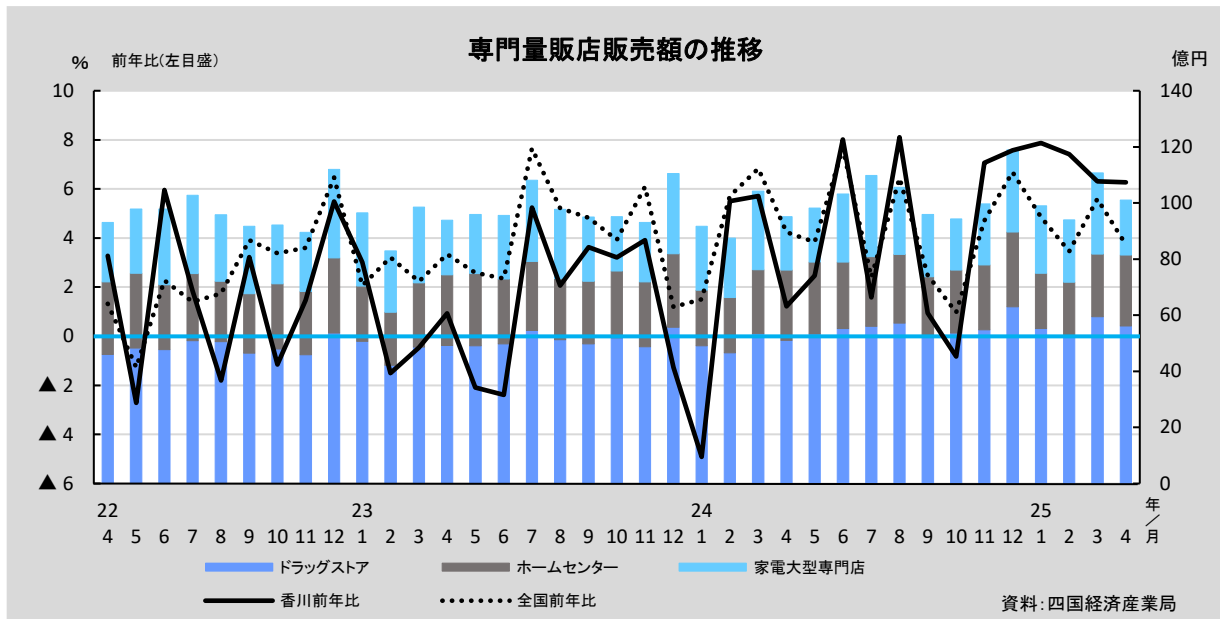
2 カ月連続増加



4月のコンビニエンスストア全店(407店)の販売額は66.3億円で、前年同月比+3.6%となり、2カ月連続で増加した。

●専門量販店販売額

6 カ月連続増加 ↑

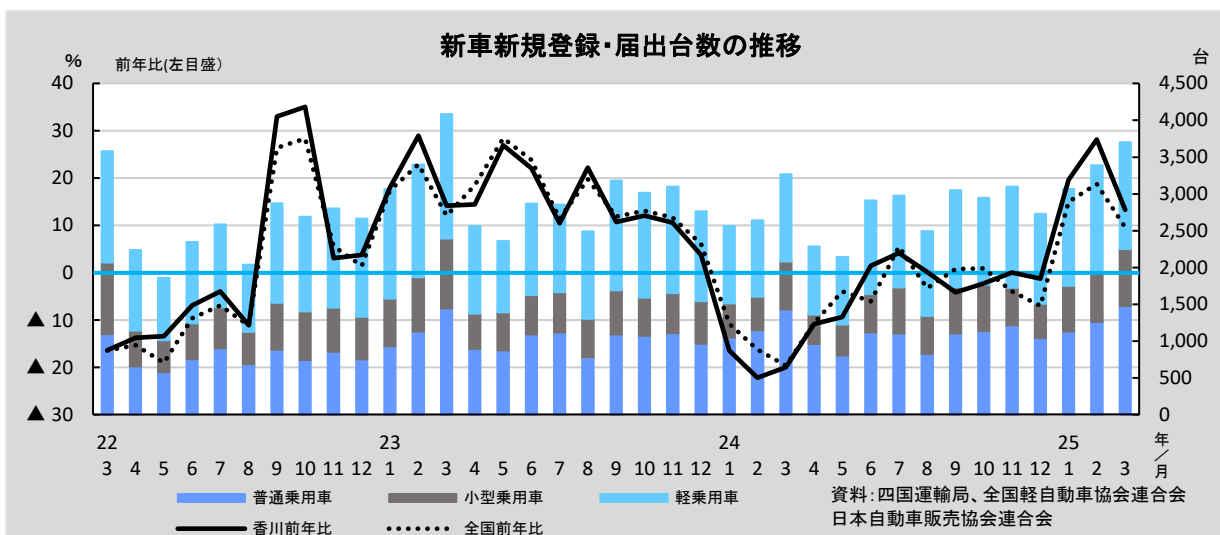


4月の専門量販店全店（229店）の販売額 101.0 億円で、前年同月比+6.3%と 6 カ月連続で増加した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（27店）の販売額は 19.6 億円で前年同月比+3.5%となった。**ドラッグストア**（156店）の販売額は、56.2 億円で同+10.1%となった。**ホームセンター**（46店）の販売額は、25.2 億円で同+0.5%となった。

●新車新規登録・届出台数

3 カ月連続増加 ↑



3月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は 3,704 台で、前年同月比+13.3%と 3 カ月連続で増加した。

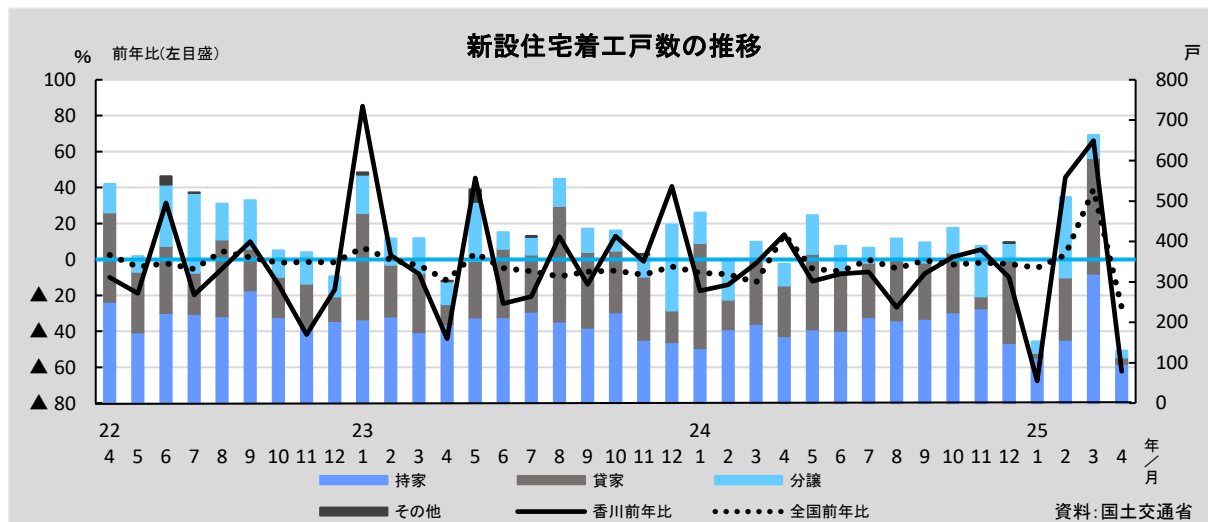
車種別にみると、普通乗用車は前年同月比+3.3%、小型乗用車は同+18.7%、軽乗用車は同+22.3%となった。

住宅投資

低調に推移している

●新設住宅着工

3 カ月ぶり減少



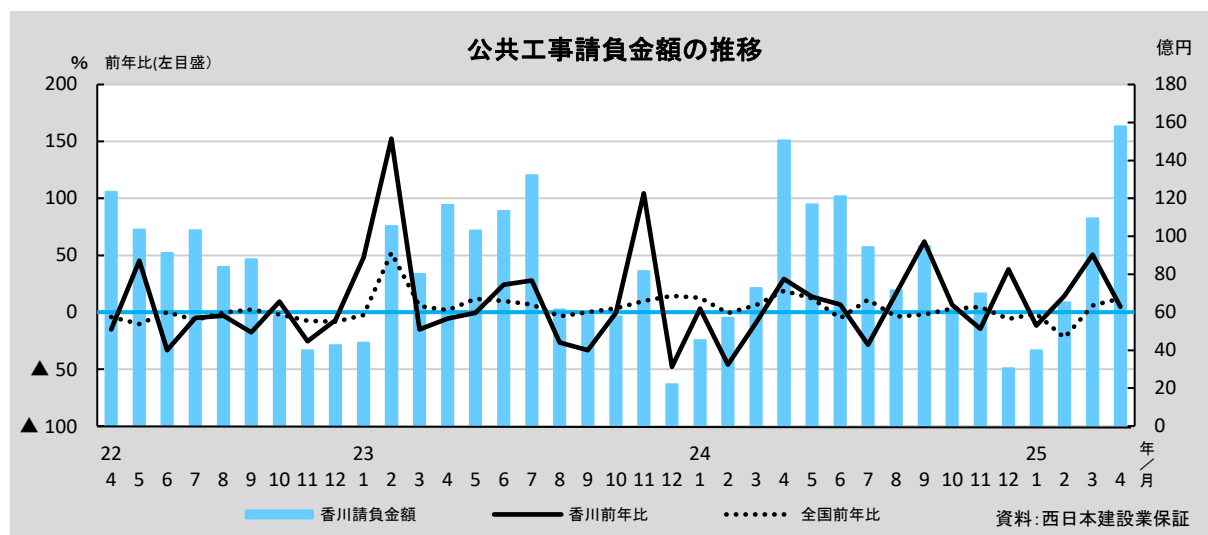
4 月の新設住宅着工戸数は 130 戸で、前年同月比▲62.3%と 3 カ月ぶりに減少した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲41.6%、**貸家**で同▲87.2%、**分譲住宅**で同▲68.5%となった。

公共投資

持ち直している

●公共工事請負金額

3 カ月連続増加



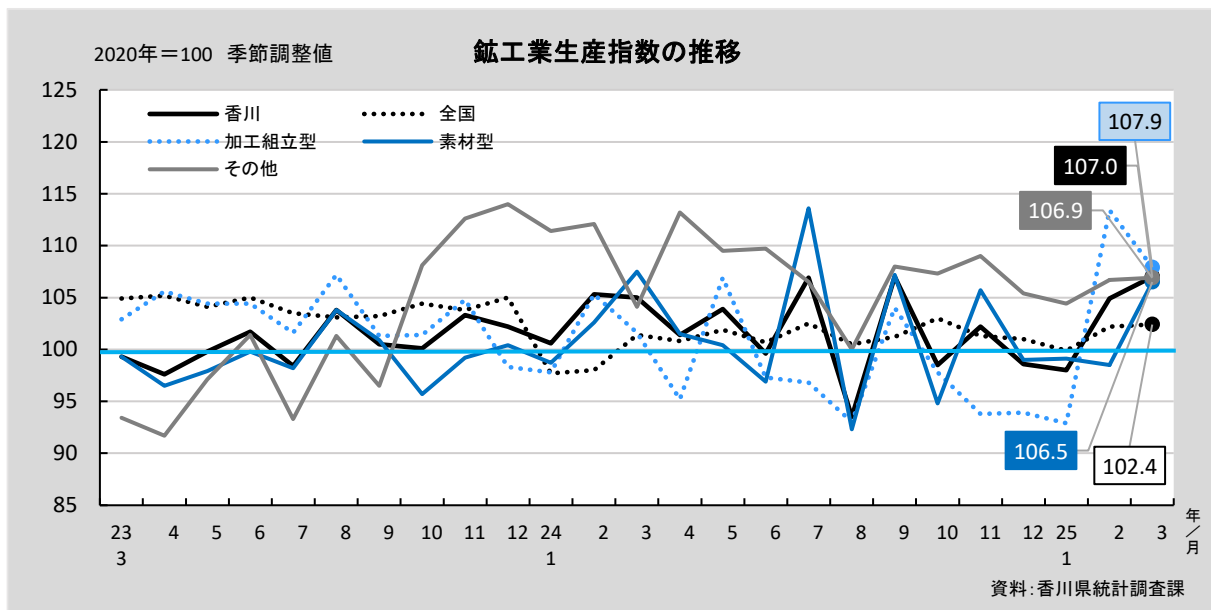
4 月の公共工事請負金額は 157.9 億円で、前年同月比+4.9%と 3 カ月連続で増加した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比▲35.0%、**県**で同▲34.0%、**市町**で同+25.2%となった。

生産活動

横ばい圏内の動きとなっている

● 鉱工業生産指数

2 カ月連続上昇



3月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は107.0（前月104.9）となり、2カ月連続で上昇した。

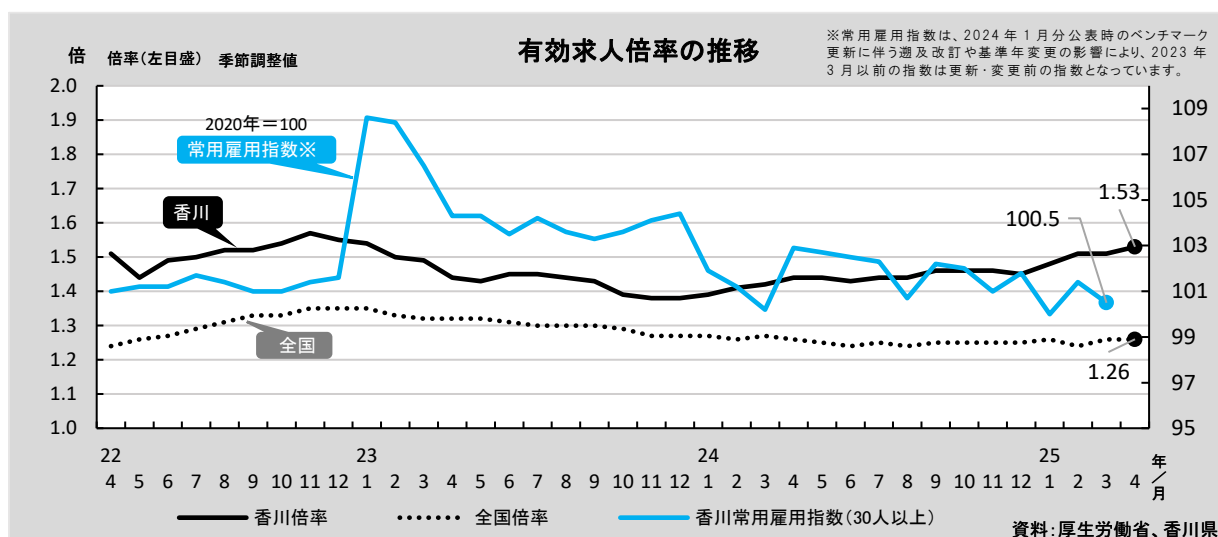
業種別では、素材型の化学・石油石炭製品工業（塩化物など）は前月比+20.6%、加工組立型の汎用・生産用機械工業（建設用クレーンなど）は同+10.5%と上昇した。一方、加工組立型の電気機械工業（開閉制御装置など）は同▲20.4%と低下した。

雇用情勢

緩やかに持ち直している

● 有効求人倍率

2 カ月ぶり上昇



4月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.53倍（全国4位）で前月より0.02ポイント上昇した。

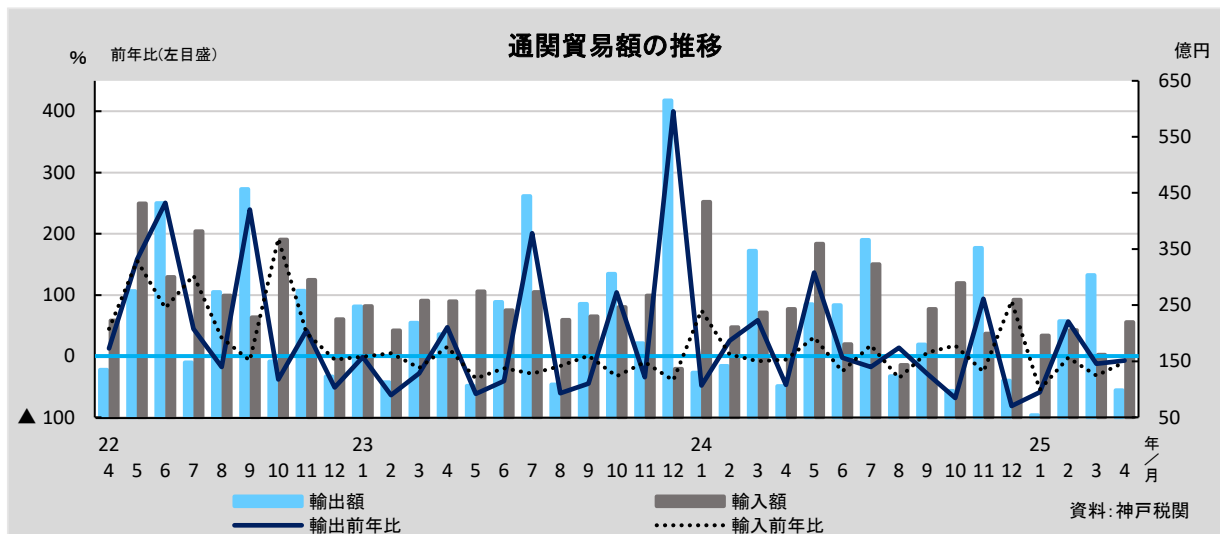
新規求人（原数値：前年同月比）は、宿泊業・飲食サービス業、サービス業（他に分類されないもの）、建設業等で減少となり、全体で▲1.0%と3カ月ぶりに減少した。

3月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、100.5となり、前年同月比は+0.3と2カ月連続で増加した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.04
事務的職業	0.62
販売の職業	2.62
サービスの職業	3.04
生産工程の職業	2.37
輸送・機械運転の職業	2.38
建設・採掘の職業	6.81
運搬・清掃・包装等の職業	1.26

貿易

輸出、輸入ともに減少している

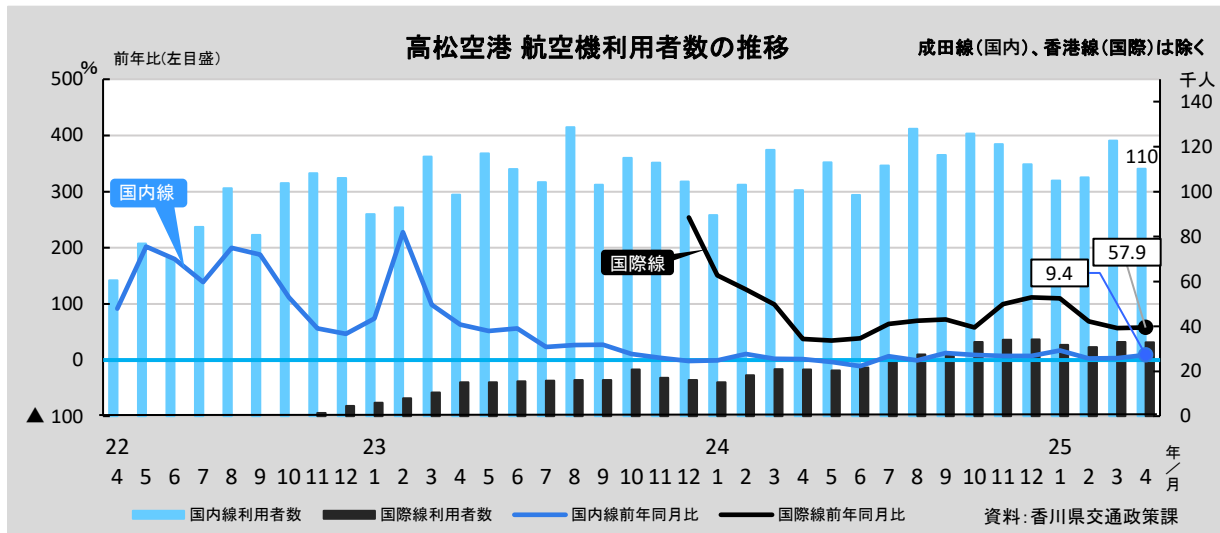


4月の輸出額は前年同月比▲6.9%の98.4億円、輸入額は同▲9.4%の220.0億円となり、差し引き121.6億円の入超となった。輸出は鉱物性燃料輸出額が前年同月比▲26.8%の49億円となり減少に寄与した。輸入は、石炭輸入額が同▲36.9%の73億円となり減少に寄与した。

交通

国内線は8カ月連続増加、国際線は18カ月連続増加

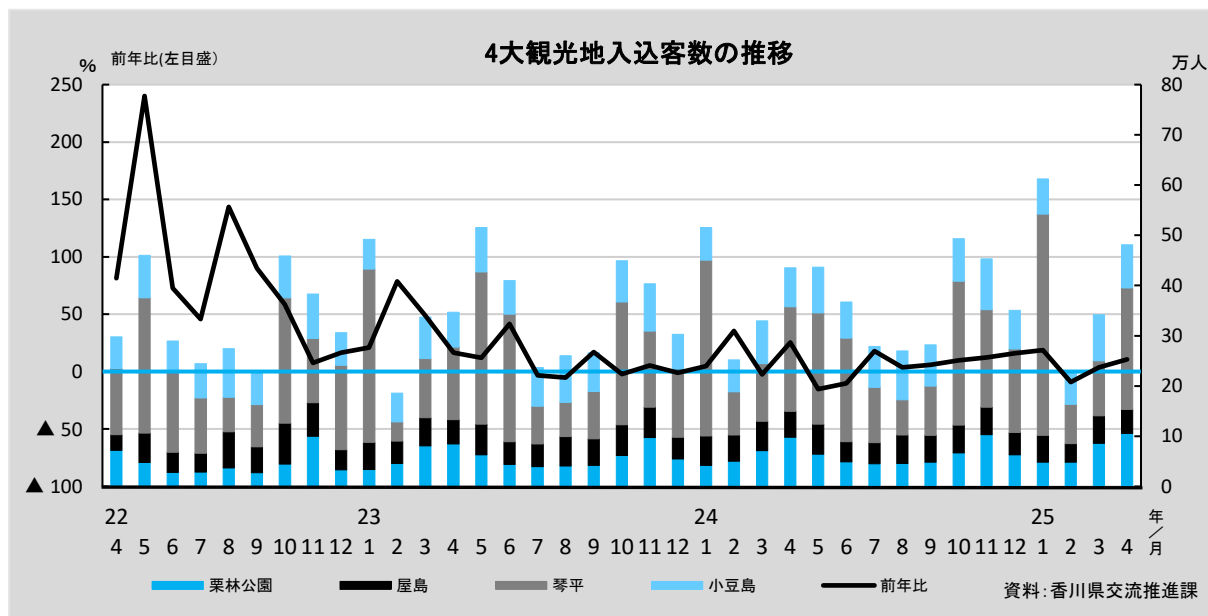
●高松空港旅客輸送実績



4月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が110,180人(前年同月比+9.4%)となり、8カ月連続で増加した。羽田線は98,081人(同+12.6%)、那覇線は12,099人(同▲11.3%)となった。

国際線は、ソウル線20,363人(同+91.3%)、上海線4,394人(同+7.2%)、台北線8,181人(同+33.8%)で合計32,938人(同+57.9%)と18カ月連続で増加した。

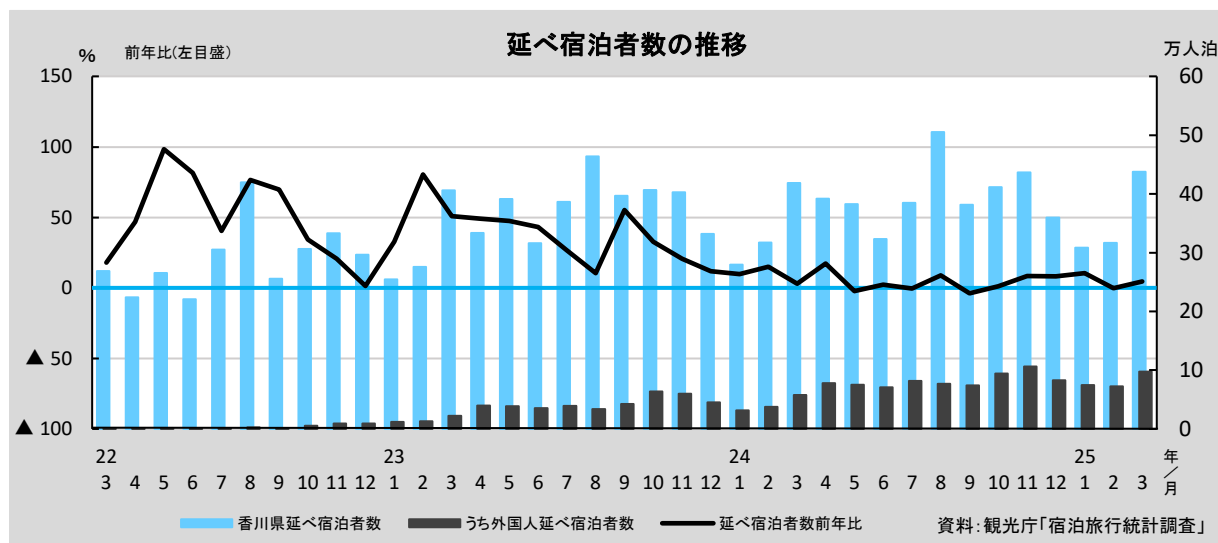
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園		屋島		琴平		小豆島		合計	
4月(人)	前年同月比	105,318	7.8%	47,763	▲8.0%	242,000	16.3%	86,177	11.0%	481,258	10.6%
1~4月累計(人)		287,382	10.0%	193,288	▲12.5%	870,000	14.6%	313,651	7.7%	1,664,321	8.6%

4月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+10.6%と2カ月連続で増加した。栗林公園は前年同月比+7.8%、琴平は同+16.3%、小豆島は同+11.0%と増加した。一方、屋島は同▲8.0%と減少した。2025年(1~4月)の累計では前年同期比+8.6%となった。

●延べ宿泊者数



3月の延べ宿泊者数 437,840 人泊で、前年同月比+4.6%と2カ月ぶりに増加した。うち、外国人延べ宿泊者数は 97,680 人泊となり、前年同月比+68.6%と32カ月連続で増加した。